

実質化された人・農地プラン

市町村名	対象地区名(地区内集落名)	作成年月日	直近の更新年月日
高松市	香西地区	令和2年9月30日	令和4年6月9日

1 対象地区の現状

①地区内の耕地面積	79.4 ha
②アンケート調査等に回答した地区内の農地所有者又は耕作者の耕作面積の合計	49.0 ha
③地区内における70才以上の農業者の耕作面積の合計	44.8 ha
i うち後継者未定の農業者の耕作面積の合計	13.2 ha
ii うち後継者について不明の農業者の耕作面積の合計	18.3 ha
④地区内において今後中心経営体が引き受ける意向のある耕作面積の合計	- ha
(備考)	

2 対象地区の課題

<ul style="list-style-type: none"> ・市街地近郊で、混住化(居住区の中に農地がある)が進んでいる。 ・地区西部エリアの傾斜地は、果樹産地であり、農地の集約化は難しい。 ・稲作農家、露地野菜農家の中心経営体がない。 ・現在の中心経営体は施設園芸農家のため、中心経営体が引き受ける意向のある耕作面積がない。 ・道が狭いので大型機械が入れず、担い手農家が地区に入ってきてづらい。
--

3 対象地区内における中心経営体への農地の集約化に関する方針

<ul style="list-style-type: none"> ・入作を希望する認定農業者や認定新規就農者の受入れを促進することにより対応していく。
--

(参考) 中心経営体

属性	農業者 (氏名・名称)	現状		今後の農地の引受けの意向		
		経営作目	経営面積	経営作目	経営面積	農業を営む範囲
計	1人		0.5 ha		0.5 ha	

4 3の方針を実現するために必要な取組に関する方針(任意記載事項)

<p>農地中間管理機構の活用方針</p> <p>農業をリタイア・経営転換する人は、農地中間管理機構に貸し付けていく。</p> <p>農地中間管理機構の活用により、入作希望の担い手の受け入れを促進していく。</p>
--